

NPO 法人

## 全日本語りネットワーク

〒185-0021 東京都国分寺市南町 2-18-3

国分寺マンションB-03A

(Fax) 0237-67-7001 (振替) 00130 - 2 - 114808

(E-mail) welcome@japankatarinet.jp

(HP) http://japankatarinet.jp/

2019. 7. 1 発行

## ニュース



## 「震災から 8 年」

しづがわ民話の会会長 仲松敏子



あの大地震から 8 年、もうすぐ 9 年目に入ります。今もまだ時々悪い夢を見ているような気持ちになりますが、朝起きて外を見ると震災前とは違った風景に「やっぱり」と現実に戻されます。当時は何をする気力もなく先が見えず暗い気持ちで過ごしました。それでも全国からの暖かい励ましの声にささえられ、勇気づけられました。8 年が過ぎようやく人々も落ち着きが見られるようになりましたが、復興はまだ完全に終わったわけではありません。震災前のあの静かできれいな町並みはもう二度と戻ってはきません。町は分断され、そちらの高台、こちらの高台へとみな離ればなれになって、顔見知りや近所だった人に偶然会うと、「今どこに住んでいるの？」との挨拶になります。それでも徐々に復興が進み、商業施設や公園等が整備され、観光客も多く来てくれるようになり、日中は賑やかさがありますが、夜はまったく人通りもなく、自動車の往来もありません。不気味なくらい静かです。夜はほとんど外出もできません。

私は町の中心の高台に住んでいたつもりでしたが、どんどん盛土がされ道路が高くなったり、新しい道路ができたりで今では町はずれの低い場所になってしまいました。この復興工事がいつ終了するのか歯がゆい思いはありますが、いつの日かきっと完成という日が来て落ち着きを取戻し、静かに暮らせる日々がおとずれることを信じています。そのためにも、生き残った私たちが犠牲になった多くの人々の分まで元気でがんばって生きていこうと思います。

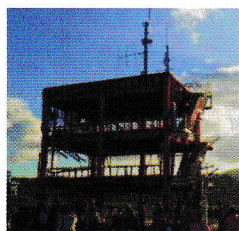
前回この会に参加くださった会員の皆様には、あれから 2 年が過ぎましたが復興が見えますでしょうか。何にもなくなったこんな町でまた「語りの小祭り」が開かれることに感謝します。大勢の皆様に参加していただき、ぜひ、復興しつつある町の様子を見てください。皆様にお会いする日を「しづがわ民話の会」会員一同楽しみにしております。

令和のこの時代こそ災害、事故、事件のない平和な時代になることを願う日々です。

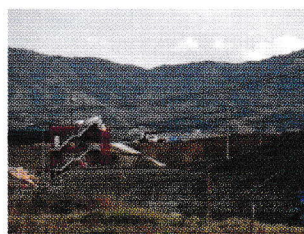
## 南三陸町防災センターの変遷



2011 年 8 月(三田村さん提供)



2014 年「語りの祭り」



2017 年「語りの小祭り」

献花台が移設されていました。

